

大阪ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 TEL(06) 586-3200
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 TEL(0722)38-1131
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 TEL(0726)71-0361
東部支社 〒578 東大阪市稲葉2-3-17 TEL(0729)62-1131
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 TEL(078)360-3100
京都支社 〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 TEL(075)231-8151
奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 TEL(0742)44-1111
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 TEL(0734)31-2481
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 TEL(0792)85-2221
豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 TEL(0796)23-2221
湖南支社 〒525 草津市遍分町字荒堀680-1 TEL(0775)62-5311
彦根支社 〒522 彦根市大東町12-11 TEL(0749)22-3131
(長浜営業所) 〒526 長浜市南呉服町3-4 TEL(0749)62-7171
本社・ガスビルサービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 TEL(06) 202-2221

大阪ガス株式会社

おねがい

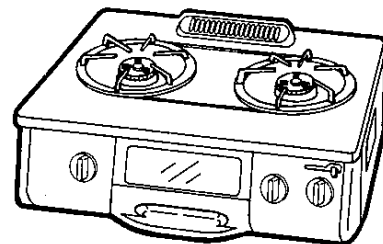
ガスくさいときは、ガス元栓を開め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

T088(00)

ガステーブルコンロ

10-968/10-969型

型式名 LW2005L
LW2005R



取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのごステープルコンロをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●特に注意していただきたいこと	1
●器具の設置	4
●各部のなまえとはたらき	7
●使いかた	8
●日常の点検・お手入れ	10
●故障かな?と思ったら	11
●仕様	12
●アフターサービス	13

特に注意していただきたいこと

使用ガスについて

■必ず銘板に表示のガスを使用してください。
(銘板は器体の右側に貼付けてあります。)

(注) この部分を必ず確認してください。
(ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。)

■転宅されたときにも供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確認してください。

(例) 都市ガス用

型式名	
都市ガス用	
ガスグループ	ガス消費量
製造年月	製造番号
製造業者名	

ガス事故防止のために

■ガス用ゴム管以外は使用しないでください。(JISまたは検査マーク入りのものを使ってください。)



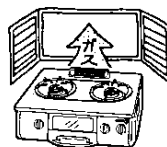
■古いゴム管は取り替えてください。(ヒビ割れ、ガス漏れの恐れがあります。)



■使用后、必ず消火を確かめ、外出、就寝前にはガス元栓を閉じてください。



■ガス漏れ時はガス元栓を閉じ窓や戸を開けて、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



■使用中もときどき正常に燃焼しているか確かめてください。

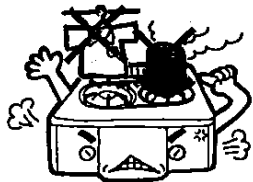


ご注意

●万一ガス漏れしたときは絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具をつけたり(スイッチの入切や電源プラグの抜き差し等)しないでください。火や火花で引火し、爆発事故などを起こすことがあります。

使用上のご注意

■衣類の乾燥や練炭の火おこしなどに使わないでください。(焼損、火災の恐れがあります。)



■コンロを覆ってしまうような補助具や大きな鉄板、陶板類は使用しないでください。(不完全燃焼による中毒や過熱・異常燃焼による器具の焼損・火災の危険があります。)

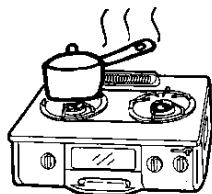


■市販のアルミ製する受けは、使用しないでください。

アルミ製する受け

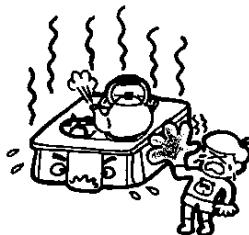


■グリル使用中は排気口に顔など近づけないでください。また鍋の取っ手等がグリル排気口の上にならないよう注意してください。やけどや変形になることがあります。

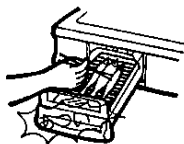


■使用中及び使用直後は、操作部(つまみ、取っ手)以外手を触れないでください。

○特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

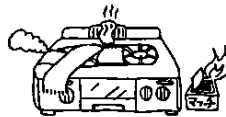


■グリル使用中、グリル扉、ガラスは高温になっています。取り出すときに手を触れないように特にご注意ください。

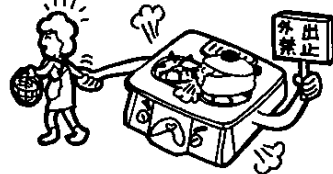


火災予防

■器具の上や周りに燃えやすいものを置かないでください。
■排気口をおおわないでください。



■火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。
■火をつけたまま離れないでください。(特に天ぷら揚げなどをしているときは危険です。)



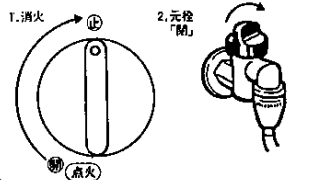
換気に注意

■使用中、必ず換気扇を回してください。(不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれがあります。)



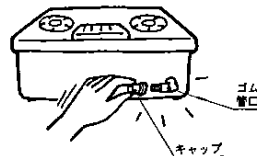
異常時の処置

■異常燃焼を起こした時や地震など緊急の場合、あわてずに器具栓とガス元栓を閉じて消火してください。



保管 (長期間使わないとき)

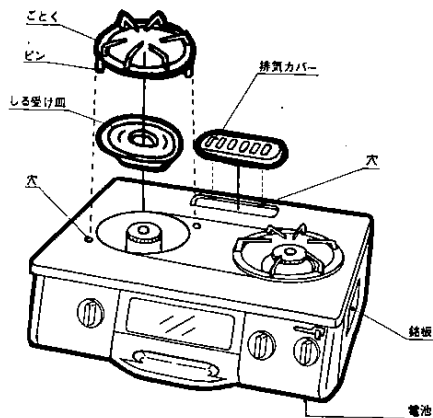
■ガス元栓を閉じてください。
■各部のよごれを取り除き、電池を外しゴム管口にキャップをはめ、ビニール袋をかけて湿気の少ない所へ保管してください。
・電池の取外しかたはP.5参照。



設置前の準備

■包装材の除去と部品の取付け

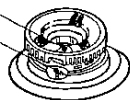
- 各部分の包装部品を取り除き、下図のように正しくセットします。
- ごとくは裏面のピン(2カ所)をトッププレート穴にはめ、排気カバーは後部のツメ(2カ所)をトッププレート穴にはめます。



バーナーのセット

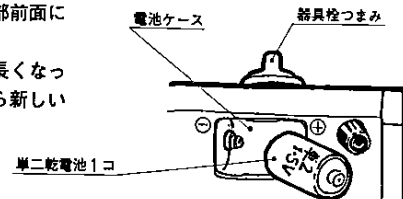
- バーナーキャップは強火バーナー用、標準バーナー用、どちらも形は同じです。少し大きい方が強火バーナー用です。

バーナーキャップの▼印とバーナー本体側のくぼみ部を合せてください。



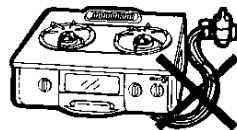
乾電池の取付け

- 電池ケースは本体右端の底部前面にあります。
- パチパチという音の間隔が長くなったり、着火しにくくなったら新しい電池とお取り替えてください。

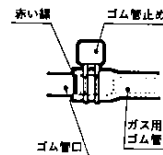


ゴム管のご注意

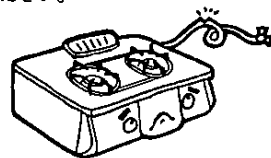
- 器具の下を通したり触れたりしないでください。



- 赤い線まで差込み、ゴム管止めで止めてください。継ぎたし、および二又分枝はしないでください。



- 2m以下で、折れ、ねじれ、ひっぱりのないようにゴム管接続してください。



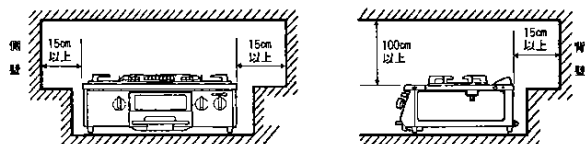
設置場所

■設置場所に良い所

- 強風が吹き込まない所（風による吹き消えの恐れがあります。）
- 棚の下など落下物の危険がない所
- 丈夫で水平なところ
- 壁や可燃物から離れている所（ステンレス板などを直接貼付けた可燃性の壁を含む）

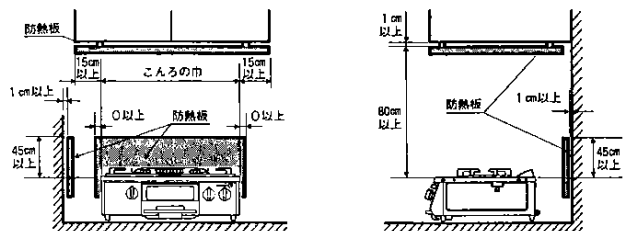
■周囲の防火措置

- 周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合

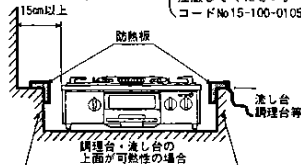


（周囲の可燃物より15cm以上、上方は100cm以上離す）

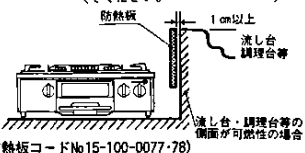
- 上記条件を満たせない場合（上記の距離をあけられない場合）は下図のように必ず別売の防熱板（コードNo15-100-0077・78・0112）を取り付けてください。



- 調理台・流し台とトッププレートがほぼ同じ高さの場合
（特に強火バーナー側に注意してください。コードNo15-100-0105）



- 調理台と流し台がトッププレートより高い場合
（60cm巾のガス台に設置されている場合は下図のように取り付けてください。）

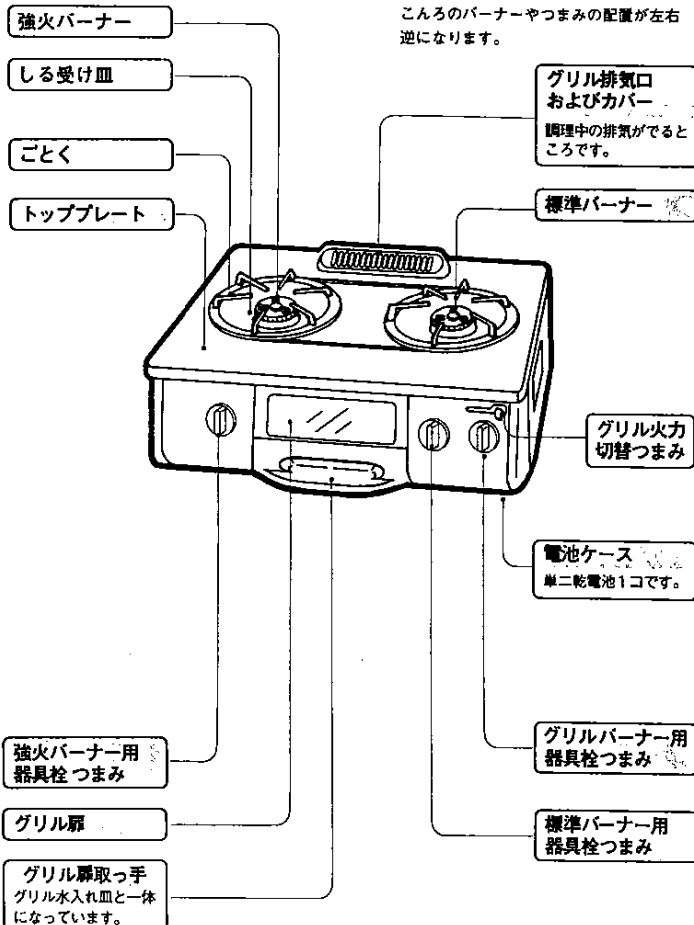


（別売防熱板コードNo15-100-0077-78）

各部のなまえとはたらき

各部のなまえと使いかた

※図は10-958の場合です。10-969の場合は
こんろのバーナーやつまみの配置が左右
逆になります。




1

点火(こんろ部・グリル部)

●器具栓の④を確認してガス元栓を全開

①押して
②そのまま回す



④
③
②
①
(点火)

点火⇨押しそのまま回してください。

- 点火の位置までまわすと「パチパチ」とスパークして点火します。点火を確かめてから手を離してください。手を離すと器具栓つまみは自動的に③の位置にもどります。
- グリル部のみ点火を確かめてから数秒間、そのまま押しつけてください。
- 配管内に空気が残っている時はくり返し点火操作をしてください。

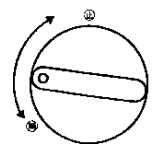
2

火力調節

●こんろ部

- 器具栓つまみを、③方向へ回すと火力は強く④方向へ回すと火力は弱くなります。
- 炎を見ながら調理に適した位置に調節して、お使いください。

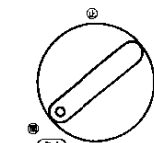
※強火から弱火にするときは、器具栓つまみをゆっくり回してください。



③
④
②
①
(こんろ部)

●グリル部

- グリル部の火力調節は、火力切替つまみで行います。
- 点火したら、③の位置でご使用ください。
- 火力切替は必ず器具栓つまみを④にして火力切替つまみで調節してください。
- 器具栓つまみが③の位置では火力調節は出来ません。



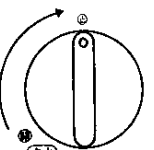
③
④
②
①
(グリル部)

3

消火(こんろ部・グリル部)

消火⇨器具栓つまみを④の位置まで回してください。

※火が確実に消えたか確認してください。



③
④
②
①
(点火)

グリルを使うときは

■初めてお使いのときは、グリル水入れ皿に水を入れ12~15分の空焼きをしてください。

(グリル内の脂を焼ききるためで煙と臭いが出ますが異常ではありません。)

○グリルは両面焼きです。

○グリルバーナー側には器具栓つまみの上部に火力調節つまみがあります。

(下図)調理に合った火力に調節してください。3種類の調節ができます。

※詳しくは付属のグリル料理手帳をご覧ください。

○グリル水入れ皿・焼網

●使用時グリル水入れ皿に水(約200ml)を入れてください。

●グリル水入れ皿は扉と一体です。

●グリル水入れ皿は扉取っ手を持って奥まで入れてください。

●グリル扉取っ手を持ち静かに引き出してください。

●グリルケースから取り出すときは、止ったところで少し持ち上げて、引き出してください。

●取り付けるときは逆の方法で取り付けてください。

●グリル水入れ皿の切込み穴に焼網の脚部を入れてください。

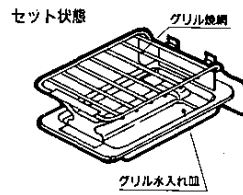
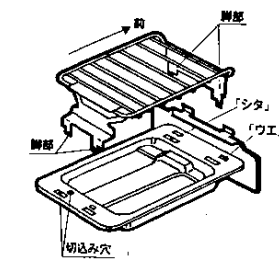
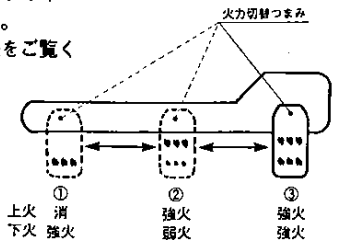
●切込み穴「シタ」は焼網が低くなります。

「ウエ」は焼網が高くなります。

●焼物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網にのせて焼いてください。

●水入れ皿の表面に脂が多くなると飛び散りや燃えたりしますので、水を入れ替えてください。

又続けてのご使用は水量にご注意ください。



ご注意

●グリル火力切替つまみは器具栓つまみが④の位置では動きません。

●グリル火力切替つまみは器具栓つまみを③の位置にしてお使いください。

●グリル使用中は扉を閉じてください。

●扉の引き出しはゆっくりと引き出してください。強く引き出すと水がこぼれることがあります。


●グリルとこんろを同時に使用されるとガスの炎が赤色になることがあります異常ではありません。

●魚等の焼きすぎにご注意ください。そのまま放置すると魚等が燃えることがあります。

日常の点検・お手入れ

日常の点検・お手入れ

「点検・お手入れ」は必ず元栓を閉じ器具が冷えてから行ってください。
 ・お手入れの際は、お手元に注意して行ってください。

点 検	確認とお手入れ
ゴム管は	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム管口の赤い線まで差し込まれていますか。(P.5) ・ゴム管のひび割れやゴム管口のゆるみはありませんか。(P.1)
バーナーキャップのセットは	<ul style="list-style-type: none"> ・▼部とバーナー本体のくぼみ部が合っていますか。(P.4) (浮いたり、傾いたりしていませんか)
バーナーの目づまりは	<ul style="list-style-type: none"> ・煮汁等で詰っていませんか。バーナーキャップ(キリやブラシで掃除をしてください。) 
グリル水入れ皿に油のたまりは	<ul style="list-style-type: none"> ・グリル皿に多量の油がたまっていませんか。 ※脂がたまったまま使用しますと、脂が燃えることがあります。
器具の汚れは	<ul style="list-style-type: none"> ・グリル扉・ごとく・しる受け皿(水洗いした後、水気をふき取ってください。)
乾電池の交換は	<ul style="list-style-type: none"> ・点火時、点火音が遅くなっていますか。 (遅くなったら新しいものとお取り替えてください。)

■グリルケース

・グリルケースを引き出すときは、前の方を少し持ち上げてから引き出してください。

■グリル扉

- ・そのつどまだ温いうちに汚れを落してください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分水気をとっておいください。
- ・グリル扉は簡単に取りはずし、取り付けができます。



(取りはずし方)

- ・グリル水入れ皿を支え、ガラスの下を指で押えながら、扉を内側にたおすようにするとはずれます。

(取り付け方)

- ・グリル水入れ皿のツメ(2カ所)を、扉の裏面の長穴に差し込み、扉の下部を回転させるようにグリル水入れ皿側に、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

ご注意

- ・ガラスはミガキ砂や金属片、金タワシなどでこすらないでください。印刷がはげたり、キズをつけるると割れる原因になります。

故障かな?と思ったら

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して、十分な点検をお願いします。

	こんなとき	お確かめください	ページ
こんろ部	・点火しない	①ガス栓が全開になっていますか。 ②電池が消耗していませんか。 ③バーナーキャップのセットが正確ですか。 ④バーナーの炎口が目づまりしていませんか。 ⑤ガス配管内に空気が残っていませんか。 ⑥ゴム管が折れていませんか。	8 5 4 11 8 5
	・点火しにくい		
	・放電しない		
	・火移りしにくい ・黄炎で燃える ・炎が安定しない ・ガスまたはいやな臭いがする	①バーナーキャップのセットが正確ですか。 ②バーナーの炎口が目づまりしていませんか。 ③風等の影響を受けていませんか。	4 11 6
グリル部	・使用中に消火した、消火しやすい	①バーナーキャップのセットが正確ですか。 ②バーナーの炎口が目づまりしていませんか。 ③熱電対(安全装置)に煮こぼれがついていませんか。	4 11 12
	・異常な音をたてて燃える	①バーナーキャップのセットが正確ですか。 ②バーナーの炎口が目づまりしていませんか。	4 11
	・点火しない ・点火しにくい	①ガス栓が全開になっていますか。 ②電池が消耗していませんか。 ③点火操作が正確ですか。 (点火位置で数秒間保持しましたか)	8 5 8

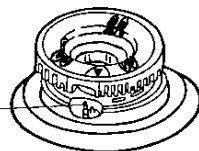
風や煮こぼれで火が消えたとき

- ・安全のため立消え安全装置ははたらき自動的にガスを止めます。(完全に止まるまで少し時間がかかります。)
- ・消火に気づいたときは、すぐ器具栓つまみを④の位置にもどしてください。
- ・再度使用は周囲に生ガスがなくなるのをまってから点火操作をしてください。

ご注意

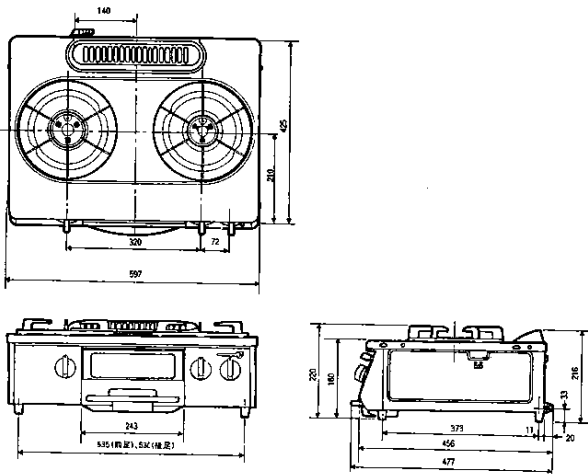
- ・熱電対に水滴や煮こぼれが付いたときはきれいにふき取ってください。
- ・熱電対に固いものをあてないでください。変形すると点火不良等の原因になります。
- ・処置方法や原因のわからないときはお買求めの販売店または、大阪ガス支社へご連絡ください。

熱電対
(立消え安全装置)



故障かな?と思ったら

仕様



単位: mm

品名	ガステーブルコンロ			
品番	10-968型	10-969型		
型式名	LW2005L	LW2005R		
点火方式	連続放電点火			
安全装置	立消え安全装置			
付属品	グリル焼網・ゴム管ホルダー・グリル料理手帳・乾電池(単二1.5V 1個)			
外形寸法	高さ180mm(トッププレートまで)×幅597mm×奥行456mm(取っ手を除く)			
重量(本体)	12.0kg			
使用ガスの種類 ガスグループ	1時間当りのガス消費量			
	個別ガス消費量			全点火時 ガス消費量
都市ガス A (kcal/h)	強火バーナー	標準バーナー	グリル	
	4,100	2,600	2,200	
L P ガス (kg/h)	0.267	0.190	0.190	0.630
				内径 9.5mm ガス用ゴム管

サービスのお申し込み

・サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(11ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス社にご連絡ください。

・ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名……………ガステーブルコンロ
2. 品番……………本体の左側面に貼付してあります。

例

(N)10-968(U)
大阪ガス株式会社 04

3. 故障、異常の現象……………できるだけ詳しく

4. お客様名、住所、電話番号

転居されるとき

・ガスには都市ガス13種類、およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

・保証期間中は…
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

・保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後6年間です。